

妊娠初期の女性が  
風しんにかかると、  
生まれてくる赤ちゃんが

# 「先天性風しん症候群」になる確率 妊娠1ヵ月で 50%以上<sup>※</sup>

この数字は、免疫のない女性が妊娠初期に風しんウイルスに感染した結果、病気を持った赤ちゃんが生まれる確率です。耳が聞こえにくくなる、目が見えにくくなる、心臓に病気がある、発達がゆっくりしている。これら「先天性風しん症候群」は、妊娠「前」の予防接種で防ぐことができます。未来の赤ちゃんのために、まずは風しんの抗体検査を。

※母親が感染した妊娠月別の先天性風しん症候群の発生頻度は、妊娠1ヵ月で50%以上、2ヵ月で35%、3ヵ月で18%、4ヵ月で8%程度である。

出典元：国立感染症研究所



妊娠前の女性は

「風しん」の予防接種を  
ご検討ください。

接種後2ヵ月は避妊が必要です。

2回の接種により確実に先天性風しん症候群を予防できます。



成人男性は

- 風しんにかかったことがない方
- 風しんワクチンを受けていない方
- どちらも不明の方

接種をご検討ください。

2回接種しても問題ありません。



妊娠中の女性の家族は

「風しん」の予防接種を  
ご検討ください。

妊婦は風しんの予防接種を受けられません。  
1歳児(第1期)と、小学校入学前1年間(第2期)は  
麻しん風しん混合ワクチンの定期接種を受けましょう。

ポイント 1 近年の風しんは成人に多く見られ、平成25年には20代から40代の年齢層で男性を中心に風しんが流行しました。

ポイント 2 特に昭和54年4月2日～平成2年3月31日生まれの男女は接種率が低く、昭和54年4月1日以前生まれの男性は子どもの頃に定期接種のチャンスがありませんでした。

ポイント 3 風しんの予防接種は、はしか(麻しん)も一緒に予防できる麻しん風しん混合(MR)ワクチンで受けることをお勧めします。

予防接種の必要性は、抗体検査でわかります。

## 今、未来を想うカタチ。風しんの抗体検査。

現在、多くの自治体では先天性風しん症候群の予防のために、主として妊娠を希望する女性を対象に、風しんの抗体検査(免疫の状態を調べるための血液検査)を無料で実施しています(平成27年3月末まで)。風しんの抗体検査の実施状況については、お住まいの地域の保健所までご相談ください。抗体検査をして抗体価が低かった場合、予防接種をご検討ください。

【お問い合わせ先】厚生労働省 感染症・予防接種相談窓口 TEL.03-5276-9337  
受付時間：午前9時～午後5時(土・日・祝日、年末年始を除く)

風しん 厚労省

検索

準備OK?

# 妊娠を考えるなら、 麻しん風しん混合ワクチンを。



ご結婚おめでとうございます!  
新生活の準備でお忙しいことと思いますが、妊娠を考えるなら、

麻しん風しん混合ワクチン(MRワクチン)の接種を  
ご検討ください。(相談はお住まいの市区町村へ)

## 妊活の 第一歩!



20-40代の女性の約14%は、風しんの感染予防に十分な抗体を持っていません。

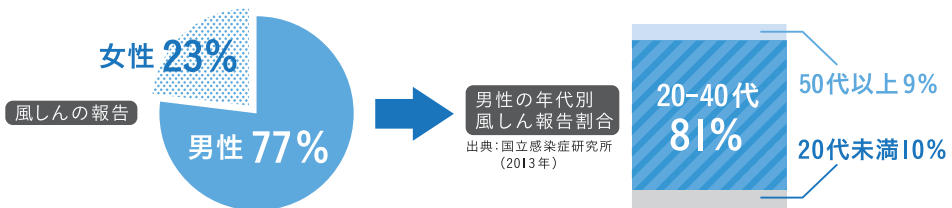


妊娠した女性(とくに妊娠20週頃まで)が風しんにかかると、  
赤ちゃんに難聴、心疾患、白内障などの障がい  
『先天性風しん症候群』が出る可能性があります。

× 妊娠中は予防接種を受けることができません。  
妊娠前に予防接種を受けることをご検討ください。

## 男性も 注目!

風しんの報告の7割以上が男性、そのうち8割以上が20-40代。



万が一にも、お二人の赤ちゃんが先天性風しん症候群にならないように、  
妊婦の周りにも男性も予防接種を受けることをご検討ください。

## 予防接種の必要性は、抗体検査でわかります。

- 予防接種を受けているか不明な方、風しんにかかったことが確実でない方は、ぜひこの機会に風しんの抗体検査をご検討ください。
- 現在、多くの自治体では先天性風しん症候群の予防のために、主として妊娠を希望する女性を対象に、**風しんの抗体検査(免疫の状態を調べるための血液検査)を無料で実施しています(平成27年3月末まで)**。

※風しんの抗体検査の実施状況については、自治体によって異なりますので、抗体検査を希望される方はお住まいの地域の保健所までご相談ください。



厚生労働省

風しんについて、くわしくはこちらへ⇒

風しん 厚労省

検索

# 従業員の皆様へ

自分自身だけでなく、家族や一緒に働く方を風しんからまもるために、下記の対策をご検討ください。

 妊娠前の女性は

妊娠前に  
風しんの予防接種  
をご検討ください。

※接種後2カ月は避妊が必要です。  
※2回の接種で、より確実に先天性風しん症候群を予防できます。

 妊娠中の女性は 

ご家族の方に  
風しんの予防接種  
を検討するようご相談  
ください。

※妊婦は風しんの予防接種を受けることができません。  
※妊娠中で予防接種を受けられない場合には、人混みを避ける  
など、風しんにかかっている可能性のある人との接触は  
可能な限り避けてください。

 成人男性は

以下をチェック!

- 風しんにかかったことがない方
- 風しんワクチンを受けていない方
- どちらも不明な方

該当する方は、風しんの予防接種  
をご検討ください。

※2回接種しても問題ありません。

風しん  
注意報

## 流行には引き続き注意が必要です。

※平成24～25年度に風しんが流行し、職場や通勤時の感染が疑われる患者が多く見られました。

あなたの **職場** でも

**風しん予防対策**されていますか?

今、風しんにかかる患者のうち、働く年齢層の方が多くなっています。  
妊婦が感染すると、赤ちゃんが『先天性風しん症候群』になる危険性があります。

# 事業者の皆様へ

健康で安心な職場の環境整備のため、下記の対策をご検討ください。

1

従業員が  
予防接種のために  
医療機関などの受診を  
希望した場合には、  
ご配慮ください。

2

入社時などに、  
予防接種の記録の  
確認を本人に  
呼びかけるように  
してください。

3

職場での  
感染予防のため、  
風しんにかかった  
人の休暇について  
ご配慮ください。

4

従業員に対し、  
風しん抗体検査の  
機会を設けるよう  
ご配慮ください。

# Q & A 職場での風しん予防対策

## Question ① なぜ職場で風しん予防対策が必要なの？

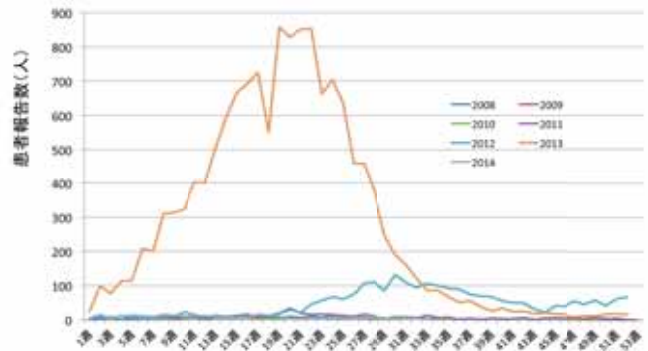
風しんにかかる患者は働く層の方に多いからです。

風しんが流行した2013年の患者数は14,357人、うち約70%が男性でした。また、男性患者の約80%は20-40代と、成人の働く世代に多くなっています。

2013年度の国の調査によると、30-40代の成人男性の約16%が風しんの免疫がないことがわかっています。

◎職場での風しん予防対策は、社会全体の風しん感染拡大防止にもつながりますので、予防のご理解、ご協力をお願いいたします。

【風しんと報告された患者数】



出典：厚生労働省/国立感染症研究所

## Question ② なぜ風しんにかかるとよくないの？

妊婦が感染すると、赤ちゃんが『先天性風しん症候群』になる危険性があります。

妊娠した女性(とくに妊娠20週頃まで)が風しんにかかると、耳が聞こえにくくなる、心臓に奇形が生じる、目が見えにくくなる、精神や身体の発達に遅れが生じるなどの障がい(先天性風しん症候群)を持った赤ちゃんが生まれる可能性があります。

## Question ③ 風しんってどんな病気？

- 風しんウイルスが感染者の飛まつ(唾液のしぶき)などによって他の人にうつります。
- 主な症状として発疹、発熱、リンパ節の腫れ(3つの主な症状)が認められます。3つの症状がそろわない人も多く、感染しても症状がでない人は約15~30%程度います。
- 通常は自然に治りますが、まれに脳炎になったり、血小板という血液の成分が減少して、皮膚に紫斑が現れる人もいます。関節が痛くなる人もいます。症状がでる前後の約1週間は、周りの人にうつす可能性があります。

## Question ④ 風しんを予防するには？

- 風しんワクチンは1回の接種で約95%、2回の接種で約99%風しんを予防することができます。\*妊娠期間中は予防接種を受けられません。
- 風しんワクチンを受けていない方、風しんにかかったことがない方、どちらも不明な方は風しんの予防接種をご検討ください。

予防接種の必要性は、抗体検査でわかります。

- 現在多くの自治体では先天性風しん症候群の予防のために、主として妊娠を希望する女性を対象に、風しんの抗体検査(免疫の状態を調べるための血液検査)を無料で実施しています(平成27年3月末まで)\*。

### 予防接種を受ける場合

- 麻しん対策の観点も考慮して、麻しん風しん混合ワクチンを接種することをお奨めしています。
- 抗体検査を受けずに予防接種を受けることもできます。予防接種は2回受けても問題ありません。

\*抗体検査の実施状況についてはお住まいの地域の保健所、予防接種についてはお住まいの市区町村にお問い合わせください。

## Question ⑤ 風しんにかかってしまったら？

- 風しんは感染力が強いので、風しんを疑う症状を認めたら、無理をして職場に行くことはやめ、医療機関に相談しましょう。
- 医療機関等で風しんと診断されたら、主治医や上司等と相談し、発しんが消失するまで勤務を休むことを検討しましょう。
- やむを得ず外出する際には、マスクを着用し、できるだけ人混みを避けましょう。